横浜町 太郎須田溜池ハザードマップ

■ ため池ハザードマップについて

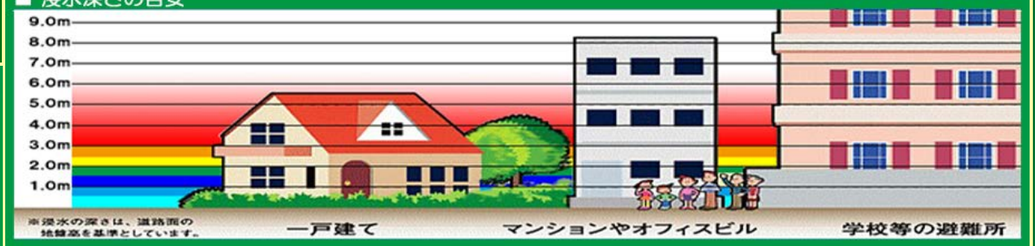
このマップは、農業用ため池が大雨等により、万が一にも堤が壊れ、皆さんの地域にため池の貯水が流出した場合を想定して作成したものです。

近年のゲリラ豪雨(局地的大雨)や大地震時には特に注意し、浸水想定区域で居住または作業を行っている方は、速やかに2階など高いところに避難が必要です。

ため池の貯水は、流出してしまうと徐々に水は引きますが、ため池の周辺には沢や川があるため、継続して雨が降っている場合は完全に水が引くまで高いところに避難してください。

避難をする時には、テレビ・ラジオ等の気象情報をこまめに確認し、動きやすい服装で、事前に徒歩にて足元に十分注意して避難を行ってください。

■ 浸水深さの目安



〈あなたの命を守るために〉

万一、安全な場所に避難できない場合でも、生命を守る最低限の行動として、近くで周囲の建物より比較的高い建物(鉄筋コンクリート等の建物)の2階以上に避難するようにしてください。

■横浜町役場

〒039-4145
青森県上北郡横浜町
字寺下35番地

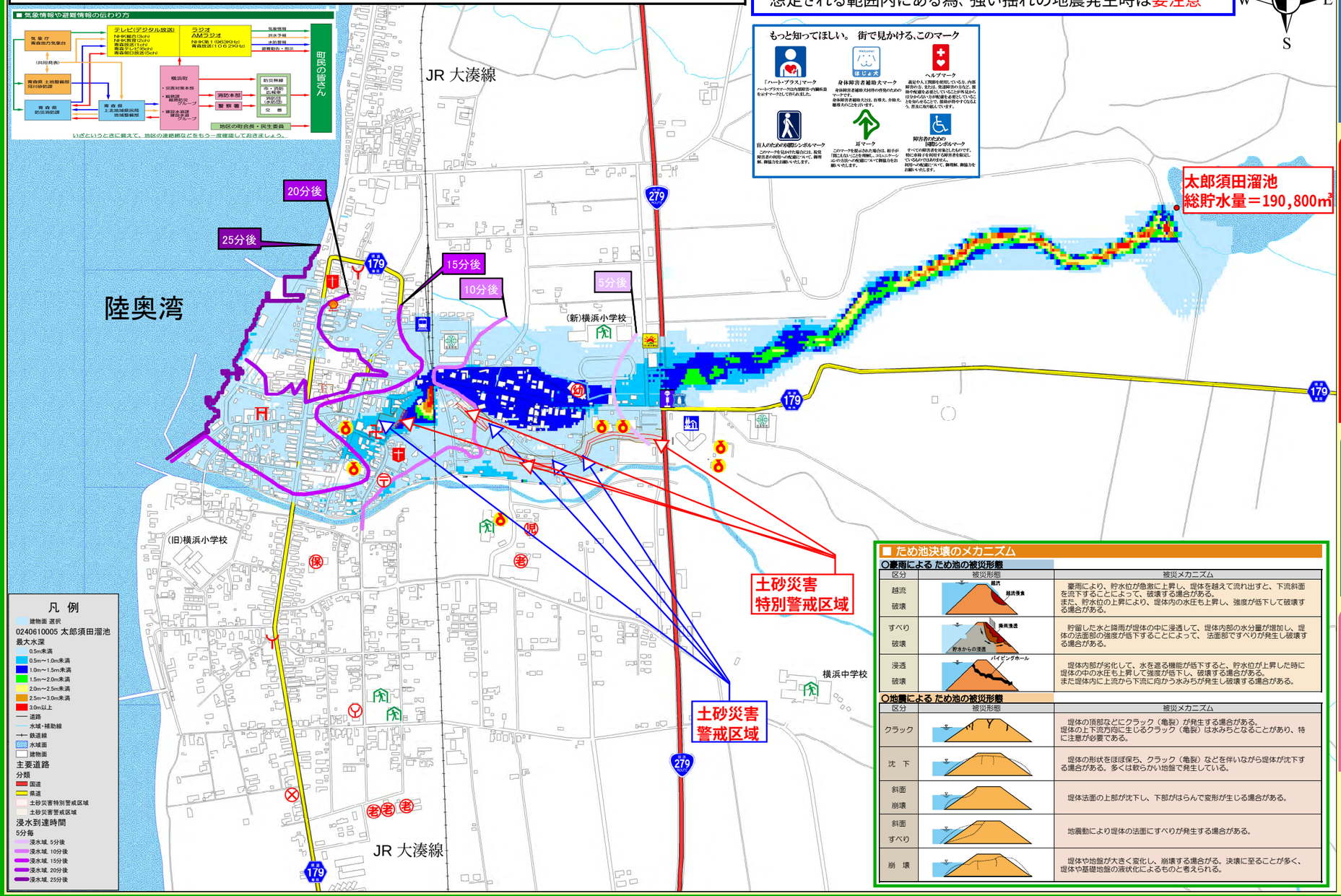
電話番号：
0175-78-2111(代表)

ファクシミリ：
0175-78-2118

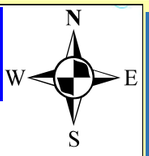
ホームページ：
www.town.
yokohama.lg.jp/

このマップは、200年に一度の大雨が降り、皆さんの地域の農業用ため池が決壊した場合に、最悪の条件を想定して作成したものです。

※200年に一度の大雨
最大日雨量：216.3mm/24h　最大時間雨量：55.0mm/h
(小田野沢観測所　雨量データより算出)



地震発生時：
対象ため池の堤体が気象庁震度6弱 計測震度5.5～6.0未満を想定される範囲内にある為、強い揺れの地震発生時は要注意



浸水深の目安		
3.0m以上	2階の床上以上の浸水	避難困難
2.5～3.0未満	2階の床下までの浸水	
2.0～2.5未満	1階の軒下までの浸水	
1.5～2.0未満	大人の身長を超える程度	
1.0～1.5未満	大人の肩までつかる程度	
0.5～1.0未満	大人の腰までつかる程度	通行は危険
0.5未満	大人の膝までつかる程度	通行には注意が必要

困ったときの連絡先

■警察署	１１０番
■火災・救助・救急	１１９番
■横浜町役場	78-2111
■野辺地警察署横浜警察官駐在所	78-2110
■横浜消防署	78-2119
■横浜町社会福祉協議会	78-2067
■東北電力(株) (停電)	0120-175-366
■NTT東日本(株) (故障)	〔局番なし〕113番
■JR陸奥横浜駅	78-2106
■横浜郵便局	78-2360
■JA十和田おいらせ横浜町支店	78-2321
■横浜町漁業協同組合	78-2006
■横浜町商工会	78-2218
■三八上北森林管理署横浜森林事務所	78-2212

主な避難場所

施設名	でんわ	構造	収容人数
横浜中学校	76-1610	RC	1,050
ふれあいセンター	78-6622	RC	450
横浜小学校(新校舎)	78-2029	RC	未調査
洗心閣	―――	W	90
トレーニングセンター	78-3693	RC	240

W：木造　RC：鉄筋コンクリート

医療機関

■菜の花クリニック	76-1787
■松林整骨院	78-2238
■公立野辺地病院(野辺地町)	64-3211
■むつ総合病院(むつ市)	0175-22-2111
■県立中央病院(青森市)	017-726-8111
■弘大医学部付属病院(弘前市)	0172-33-5111

■ ため池決壊のメカニズム

○豪雨による ため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
越流破壊		豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出すと、下流斜面を流下することによって、破壊する場合がある。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合がある。
すべり破壊		貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合がある。
浸透破壊		堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合がある。また堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し破壊する場合がある。

○地震による ため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
クラック		堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する場合がある。堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることがあり、特に注意が必要である。
沈　下		堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合がある。多くは軟らかい地盤で発生している。
斜面崩壊		堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合がある。
斜面すべり		地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合がある。
崩　壊		堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合がある。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられる。

町内の主要施設 凡例

- 避難所
- 警察機関
- 消防署
- 消防団屯所
- 横浜町の施設
- 鉄道 駅
- 高速バス停留所
- 医療施設
- 学校
- 幼稚園
- 保育園
- 老人施設
- 神社
- 寺院
- 郵便局
- ガソリンスタンド
- コンビニエンスストア
- 道の駅
- 日本原燃(株) 社員寮

避難時にあると便利なもの

- ☑ **生活用品など**
- ☐ 飲料水(1人1日3リットルが目安)
- ☐ 非常食(缶詰、インスタント食品など)
- ☐ 懐中電灯と予備電池
- ☐ ヘルメット
- ☐ 革製手袋又は軍手
- ☐ 衣類、タオル
- ☐ 雨具(長靴・レインコート)
- ☐ ティッシュ(ウェットティッシュ)
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ マスク
- ☐ マッチ又はライター
- ☐ ローソク
- ☐ 医薬品(常備薬を含む)
- ☐ アルミ製保温シート
- ☐ 厚手のビニールシート
- ☐ 紙食器
- ☐ 台所用ラップ・アルミホイル
- ☐ 笛(救助を求める時に使用)
- ☐ 粉ミルクと紙おむつ(乳幼児がいる家族)
- ☐ おもちゃ(子供がいる家族)
- ☑ **情報収集用品**
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 携帯電話と充電器
- ☐ 公衆電話用10円硬貨
- ☐ 家族の写真(はぐれた時の確認用)
- ☐ 筆記用具
- ☐ 防災マップ(市町村や町会で作成したもの)
- ☑ **貴重品**
- ☐ 現金
- ☐ 身分証明書(運転免許証など)
- ☐ 印鑑
- ☐ 預金通帳
- ☐ 健康保険証
- ☑ **防災用にあるとよい物**
- ☐ バール
- ☐ のこぎり
- ☐ 金づち
- ☐ はしご
- ☐ 消火器
- ☐ バケツ
- ☐ スコップ
- ☐ ロープ
- ☑ **備蓄しておくとよい物**
- ☐ 毛布
- ☐ テントと寝袋
- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ポリタンク
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ 石鹸
- ☐ 下着
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 生理用品
- ☐ 炊飯用具(コッヘル)
- ☐ ガムテープ
- ☐ シャンプー(水を使わないもの)